

岡山市区づくり推進事業報告書  
(地域活動部門)

平成 31 年 4 月 15 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 ひらしまけんこうふくしいいんかい  
平島健康福祉委員会

所在地

連絡先

フリガナ 代表者役職・氏名 会長 柿崎 由秀

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください)  <input checked="" type="radio"/> 地域課題解決  <input type="radio"/> 地域課題掘り起し  <input type="radio"/> 地域計画づくり  <input type="radio"/> 地域課題解決型の地域組織づくり  <input type="radio"/> その他</p>
<p>事業名</p>	<p>平島・元気で輝き事業</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>平島小学校区</p>
<p>① 事業実施内容</p>	<p>平島学区は昨年7月の西日本豪雨で被災したためその影響により当初計画していた事業の概ね7割の実施率であった。本会の組織メンバーも半数は被災しており、会そのものの存続も一時は危ぶまれたが何とか頑張って存続し活動することができている。今回の震災では事業計画にない様々な活動を通して大変貴重な経験をすることができた。本会の今後の活動に活かしていきたいと考えている。</p> <p>～高齢者が元気で社会参加ができ活躍することができることを願い～</p> <p>① ちょっとした生活上の困りごとを解決するため、生活支援サービスの提供          ② 歩いて行ける所に寄り合うことで元気になれる井戸端カフェの開催          ③ 医療や福祉、健康について楽しく学びながら健康寿命を延ばすため研修会の企画実施          ④ 地域についての社会資源を幅広く知ってもらうための情報誌の提供          ⑤ 高齢者の課題について話し合う場“小地域ケア会議”の運営</p>

<p>② 解決を目指した課題</p>	<p>&lt;生活支援サービスの成功事例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居高齢者が精神疾患で時々奇声を発することに隣近所が気づきHKFへ連絡があったが以前にその本人に対し生活支援サービスを提供したことがあった経験から保健センターと連携しアプローチした結果、医療機関を受診し治療へ繋がった</li> <li>・生活支援提供時に介護保険サービスが必要であろうと思われる方への介護認定申請手続きの支援は多数あり</li> </ul> <p>&lt;井戸端カフェの成功事例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うつ症状の強い方へのカフェへのお誘いで症状の軽減が図られた方、認知症傾向がある方の周辺症状が軽減された方、西日本豪雨災害で被災した方たちがカフェを利用されることで徐々に元気を取り戻してきている方など様々</li> </ul> <p>&lt;HKF研修会の成功事例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単一町内会への出前講研修が好評だったことから他の町内会からもリクエストがあがってきていること</li> <li>・来年度に新しく企画予定の三世代交流の場”ふれあいサタデー”を試験的に試みたが何とかできそうな可能性を確認することができたこと</li> </ul> <p>&lt;災害から学んだ課題&gt;</p> <p>“平島安全安心ネットワークとしての災害発生時での危機管理の在り方”が今後の課題として検討事項に挙げられているが、その傘下にあるHKFとしての役割はどうあるべきかをこの度の実際の活動結果から検証できたこと</p>
<p>③ 目的・目標の達成状況</p>	<p>&lt;達成状況&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 生活支援サービス利用者累計件数:35件(目標達成率75%) 被災により7月から12月の間は休止したが本年1月よりまたサービス提供は再開している</li> <li>② 井戸端カフェ開催回数:東平島・10回、南古都・10回、利用者数:東平島・83名、南古都・92名(目標達成率80%) 東平島は借りていた施設でインフルエンザ予防のため2回休止、南古都は被災の復旧工事のため2回休止、共に被災後は参加者が激変していたが徐々に以前のように戻りつつある</li> <li>③ HKF研修会開催回数:3回、累計出席者数:116名(目標達成率75%) 平島コミュニティハウスが被災の復旧工事のため1回休止、初めて西平島町内会への出前研修はたくさんの方にお集まりいただき大好評</li> <li>④ HKFニュース発行2回(目標達成率50%)</li> <li>⑤ 平島小地域ケア会議開催回数:4回</li> <li>⑥ その他災害時での活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難情報伝達/安否確認</li> <li>・被災者への情報や物資の提供</li> <li>・被災者とボランティアセンターとのメッセージ役</li> </ul> </li> </ol>

<p>④ 企画等の工夫と情報公開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援サービスの啓蒙・・・7月の被災で本サービスは一時的にリセットされた状態だが、HKF ニュースによる啓蒙や、実際のサービス提供による口から口への評価による地道な啓蒙活動を行っていく</li> <li>・井戸端カフェ・・・新しい試みとして井戸端カフェでの中学生のボランティア支援を要請してみたが声かけのタイミングが悪かったためか参加者ゼロだった、来年度は4月からアプローチの予定</li> <li>・“井戸端カフェ東平島”の場所が諸事情により来年度から平島コミュニティハウスへ変更予定</li> <li>・研修会・・・単一町内会へ出向いての出前研修会が好評だったため、今後も引き続き継続して実施していく予定である、来年度は2か所（南古都町内会など）を予定している</li> <li>・HKF ニュース・・・文字サイズや内容の改善を試みたが紙面を大きくすることができなかった点や地域情報をもっと詳細に具体的に調査を行い紹介してみたいと考えている</li> <li>・小地域ケア会議・・・出席者の質の向上に向け、課題の共有化をしていく中で高齢者の身近な事例を通し課題解決ができる仕組みや支え合い活動が一層推進できるような環境づくりを協議できるよう考えている</li> <li>・来年度の新しい企画“三世代交流の場・ふれあいサタデイ”を上道公民館の出前講座とコラボしながらの計画を検討中、また上道中学校へも中学生の参加を提案の予定</li> </ul>
<p>⑤ 次年度計画</p>	<p>来年度は従来 of 事業にプラスして“平島・元気で輝き体操”及び“三世代交流の場・ふれあいサタデイ”を実施の予定です</p> <p>&lt;生活支援サービス&gt;  目標実施件数：50件</p> <p>&lt;井戸端カフェ開催&gt;  “東平島”（第2土曜日）・・・目標開催回数12回／延べ参加者数150名  “南古都”（第4土曜日）・・・目標開催回数12回／延べ参加者数120名</p> <p>&lt;HKF 研修会開催&gt;  目標開催回数：4回（6/29、9/1、12/7、3/1）  目標延べ参加者数：200名</p> <p>※6/29は“ふれあいサタデイ”とコラボしながら上道公民館の出前講座と連携、9/1と3/1は出前研修会を予定</p> <p>&lt;HKF ニュース発行&gt;  平島学区全戸配布（1800部）  目標発行回数：2回（5月、11月）</p> <p>&lt;平島小地域ケア会議（支え合い推進会議）開催&gt;  開催回数4回：（4/26、7/26、10/25、1/24）</p> <p>&lt;その他新規事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“平島・元気で輝き体操”の開催・・・毎週土曜日（10：00～11：00、平島コミュニティハウス）</li> <li>・“ふれあいサタデイ”の開催・・・6/29（土）平島コミュニティハウス</li> </ul>

⑥事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善

- ①平成 28 年度よりの各事業については概ねできているが、持続可能な地域づくりという観点から「共に支え合うことの大切さ」の普及啓発活動が必要と思われるため、来年度は“三世代交流の場・ふれあいサタデイ”の企画を通して働きかけをしていきたいと考えている
- ②平島以外の上道中学校区にも“生活支援サービス”と同じような活動を始める動きがあり積極的に支援をしていきたい
- ③昨年の被災により貴重な体験ができたことで今後の活動に活かしていきたいと考えている  
「今回の災害では平島から一人の犠牲者も重傷者も出さなかった」という事実からその理由についてしっかり分析し、これまで地域で取り組んできたことの再評価を含め、今回の反省点をしっかり確認し、今後新たにしなければならぬことは何かを認識する
  - ・顔の見える関係づくりの大切さ
  - ・万が一の時のための「減災・防災」を意識した「一人一人」「家族」「単一町内会」の行動を日常生活の中に活かしていく
  - ・そのために「勉強会」や「訓練」などが習慣的にできる環境づくりにチャレンジする

- 区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容
- ・本活動を他学区へも広げて欲しい
  - ・継続実施を願っている
  - ・ボランティアの確保が大変と思うが頑張っている
  - ・他地域も注目しているので頑張っている
  - ・目的、活動、運営組織がしっかりしている
  - ・参加者、人数の実態は、また、成果の報告を楽しみにしている

右記の I～V の該当部分に○を付けてください。なお、IV を選ばれたときは、その理由を下記 ( ) 内へ記入して下さい。

(理由：豪雨災害ので被災したが全計画していた各事業を何とかやり遂げることができたこと )

助言等の内容について、改善ができましたか。

- I できた
- ② おおむねできた
- III 一部できなかった
- IV まったくできなかった
- V 改善意見がなかった

## ⑧事業実施経過

月日	場所	内容/担当チーム
4月13日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島
4月27日	平島コミュニティ	第41回小地域ケア会議
4月27日	岡山コンベンションホール	サン基金授与式
4月28日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都/総会
5月9日	美作市～久米南町	視察研修”2地区の地域活動団体との意見交流”
5月12日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島
5月13日	平島小学校	安全安心ネットワーク祭・救護
5月26日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都
		健康福祉ニュース9号発刊
6月2日	平島コミュニティ	第17回平島健康福祉研修会
6月9日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島
6月23日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都
7/8～14	平島学区	豪雨災害支援活動
7月14日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島
7月28日	ジョイフル	臨時会議
8月11日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島
8月24日	上道公民館	第42回小地域ケア会議
9月8日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島
9月9日	上道公民館	敬老会・救護
9月22日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都
10月13日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島
10月26日	平島コミュニティ	第43回小地域ケア会議
10月27日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都/定例会
11月10日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島
11月20日	瀬戸町福祉の館	坂出市社協との意見交換会
11月24日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都
		健康福祉ニュース10号発刊
12月8日	平島コミュニティ	第22回平島健康福祉研修会及びご飯会
12月22日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都/定例会
1月12日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島
1月25日	平島コミュニティ	第44回小地域ケア会議
1月26日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都
1月27日	旧木庭氏店舗	新年会
2月3日	灘崎文化センター	第2回岡山市公民館大会発表
2月16日	上道公民館	元気！わくわく！フェスタ in 上道
2月23日	木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都/定例会
3月8日	南古都団地集会場	愛育委員会総会
3月9日	西平島公会堂	第23回平島健康福祉研修会
3月11日	平島幼稚園	平島子育て広場総会
3月11日	ANAホテル	生命保険協会助成決定授与式
3/14～3/24	岡山NPOセンター	岡山市被災者生活再建支援業務委託事業
3月16日	東区区役所	平成31年度区づくり事業ヒアリング
3月23日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都

⑩ 収支決算書

◆収入

(単位:円)

科目	予算額	決算額	説明
岡山市補助金	147,500	118,700	
負担金	10,000	30,000	年会費、研修視察会費
参加費	30,000	21,138	チケット券売上金、カフェ参加費
協賛金	37,500	75,000	振興事業、社協、地域企業の寄付金など
繰越金、雑収入	15,000	0	
計	240,000	244,838	

◆支出

科目	予算額	決算額	説明
消耗品費	20,000	10,458 8,967	コピー紙、封筒、紙コップなど
食糧費	36,000	18,232 30,217	研修会時飲料代など 災害ボランティア子育て支援
印刷製本費	12,000	9,360	印刷及びコピー代など
燃料費	0	0	
光熱水費	0	0	
通信運搬費	70,000	44,848	電話40,608円、切手
広告料	0	0	
手数料	0	0	
使用料・賃借料	10,000	60,500	会場費、研修視察バス代
原材料費	0	13,228 0	
委託料	0	0	
報償費	12,000	14,964	講師謝礼金、講師謝礼品
保険料	20,000	10,200	ボランティア活動保険
旅費	5,000	5,140	研修会受講及び講演会発表時交通費
その他	55,000	50,642 60,642	研修視察参加費、災害ボランティア子育て支援
計	240,000	244,838	

補助対象  
237,572.

食糧費